

一宮川流域における主な浸水被害状況

一宮川流域の過去の浸水被害には、昭和45年7月豪雨、昭和46年台風25号などによる洪水があげられる。また近年では、平成元年8月台風12号や、平成8年台風17号、平成25年台風26号、令和元年10月豪雨などで甚大な浸水被害が生じている。



平成8年9月台風17号（一宮町一宮）



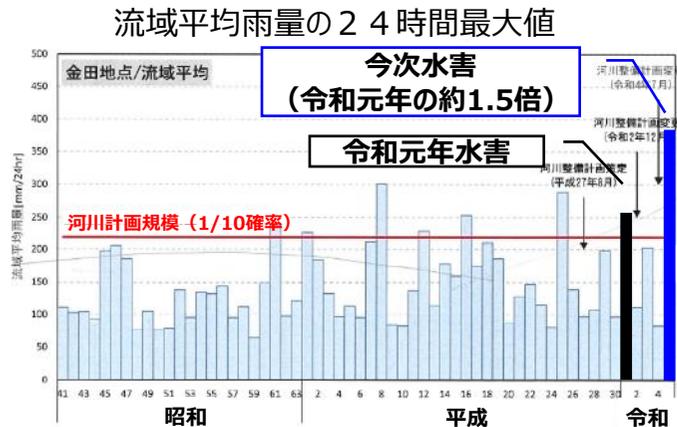
平成25年10月台風26号（茂原市長清水）



令和元年10月豪雨（茂原市八千代）



令和元年10月豪雨（長南町郵便局下）



■主な水害

発生年月	起因	降水量(mm)				被害規模		
		時間最大	6時間	24時間	累計	浸水面積(ha)	床上浸水(戸)	床下浸水(戸)
昭和45年7月	豪雨	42			205	913	113	180
昭和46年9月	台風25号	59			306	391	214	197
昭和47年12月	豪雨	63			186	480	75	484
平成元年8月	台風12号	38	124	227	238	614	758	1,702
平成7年8月	台風12号	33		214	320	254		457
平成8年9月	台風17号	43	174	301	307	1,260	1,118	1,476
平成25年10月	台風26号	34	138	289	289	687	568	658
令和元年10月	豪雨	40	183	257	257	1,762	2,264	2,073
令和5年9月	台風13号	72	272	383	402	1,554	905	1,148

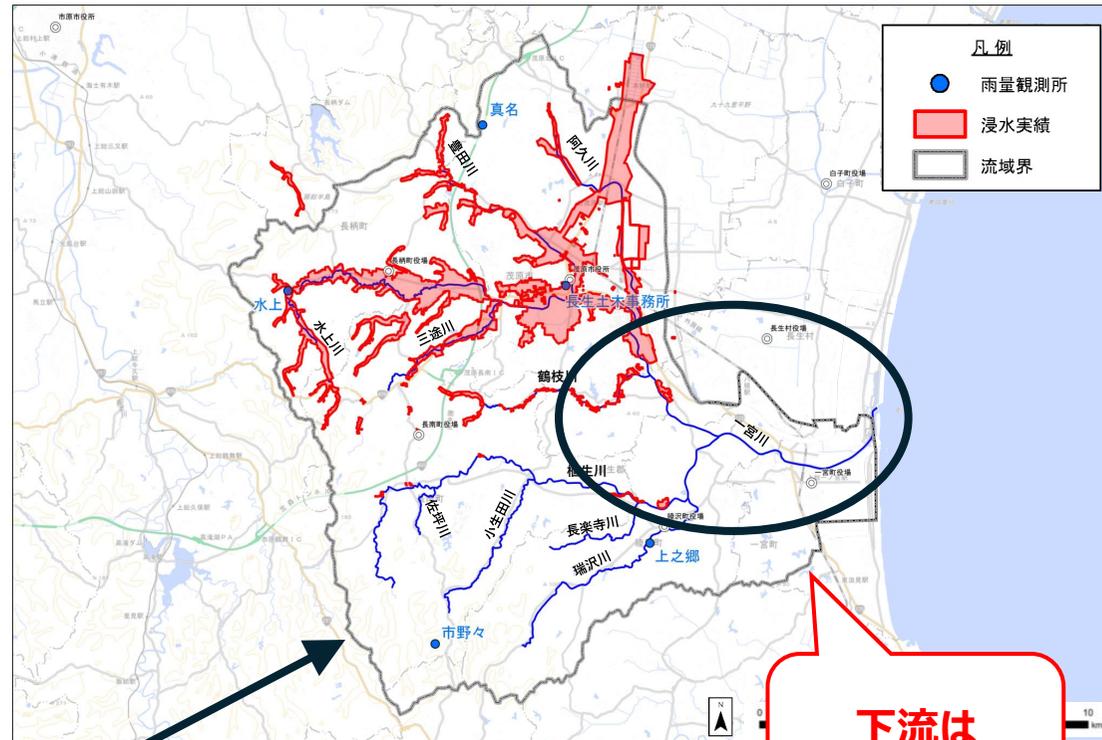
※降水量は流域平均値である。なお、令和元年10月豪雨において、長柄町水上地点では時間最大雨量77 mm、3時間最大雨量204 mm、24時間最大雨量360 mmを記録した。

一宮川流域における主な浸水被害状況

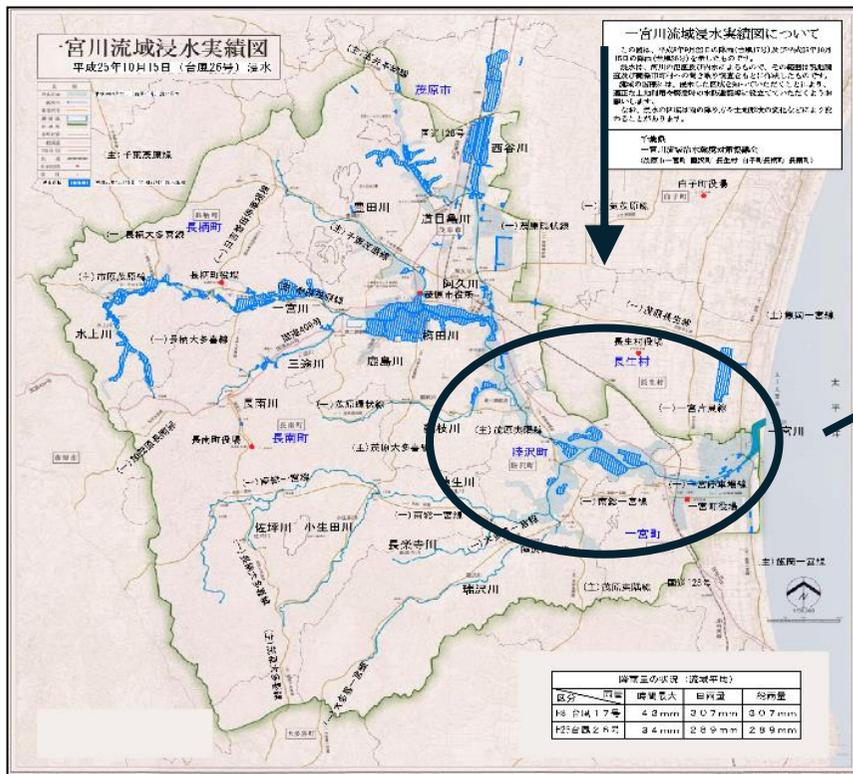
■ 水害を契機とした河川整備により、下流から徐々に治水安全度を向上させてきた。



■ 平成元年8月洪水の浸水区域



■ 令和元年10月洪水の浸水区域

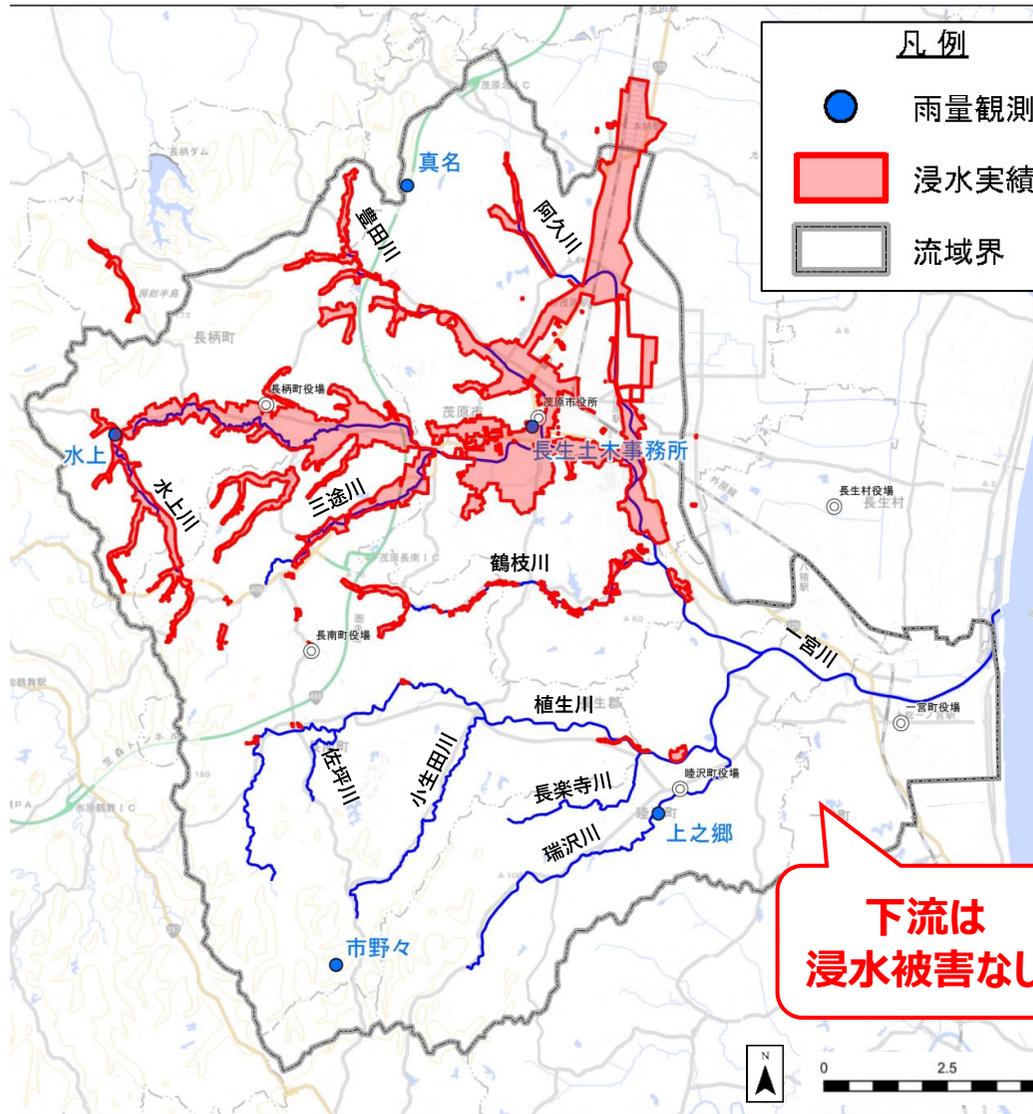


■ 平成8年9月および平成25年10月洪水の浸水区域

下流は
浸水被害なし

一宮川流域における主な浸水被害状況

■ 水害を契機とした河川整備により、下流から徐々に治水安全度を向上させてきた。



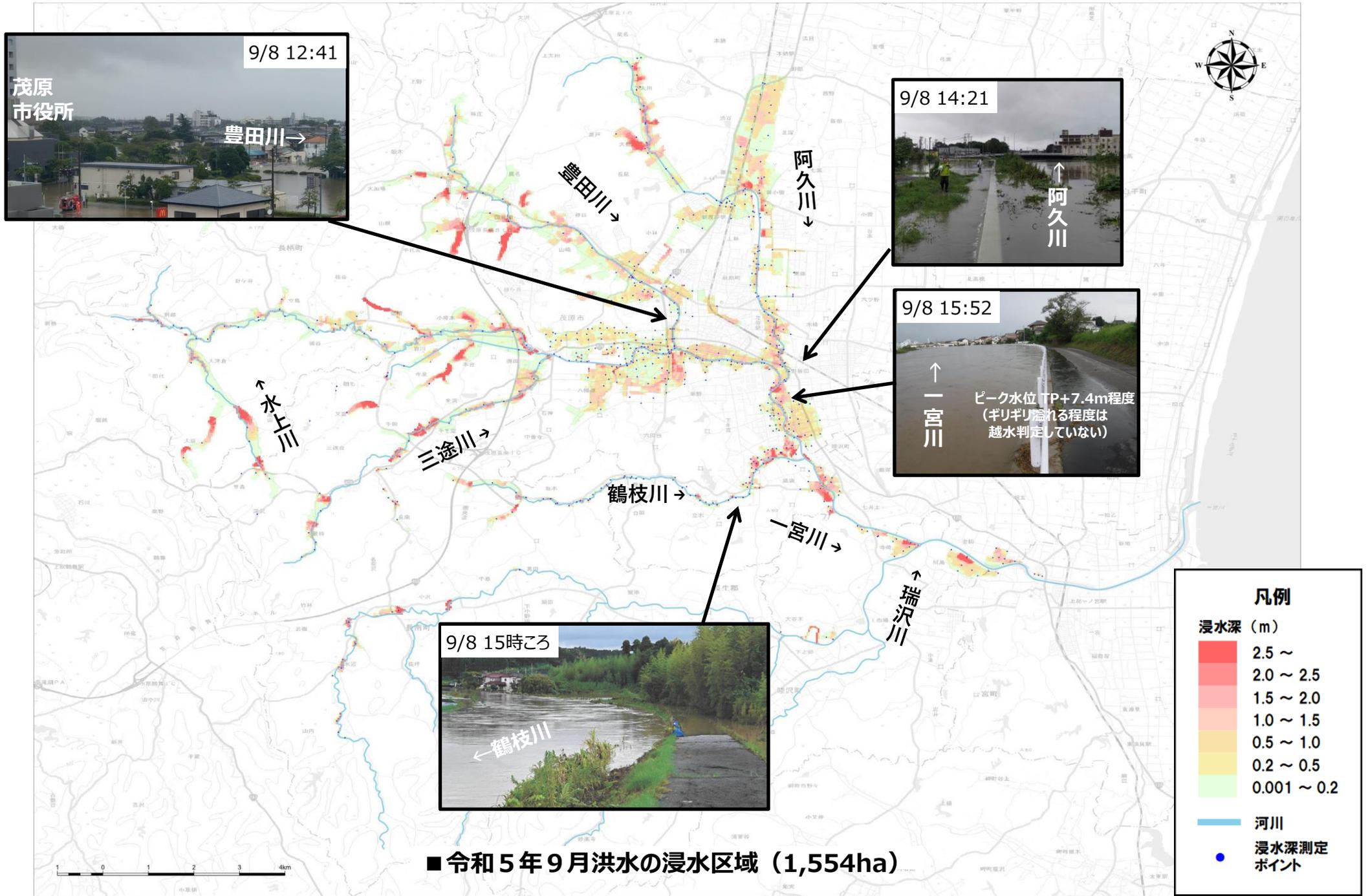
■ 令和元年10月洪水の浸水区域 (1,762ha)



■ 令和5年9月洪水の浸水区域 (1,554ha)

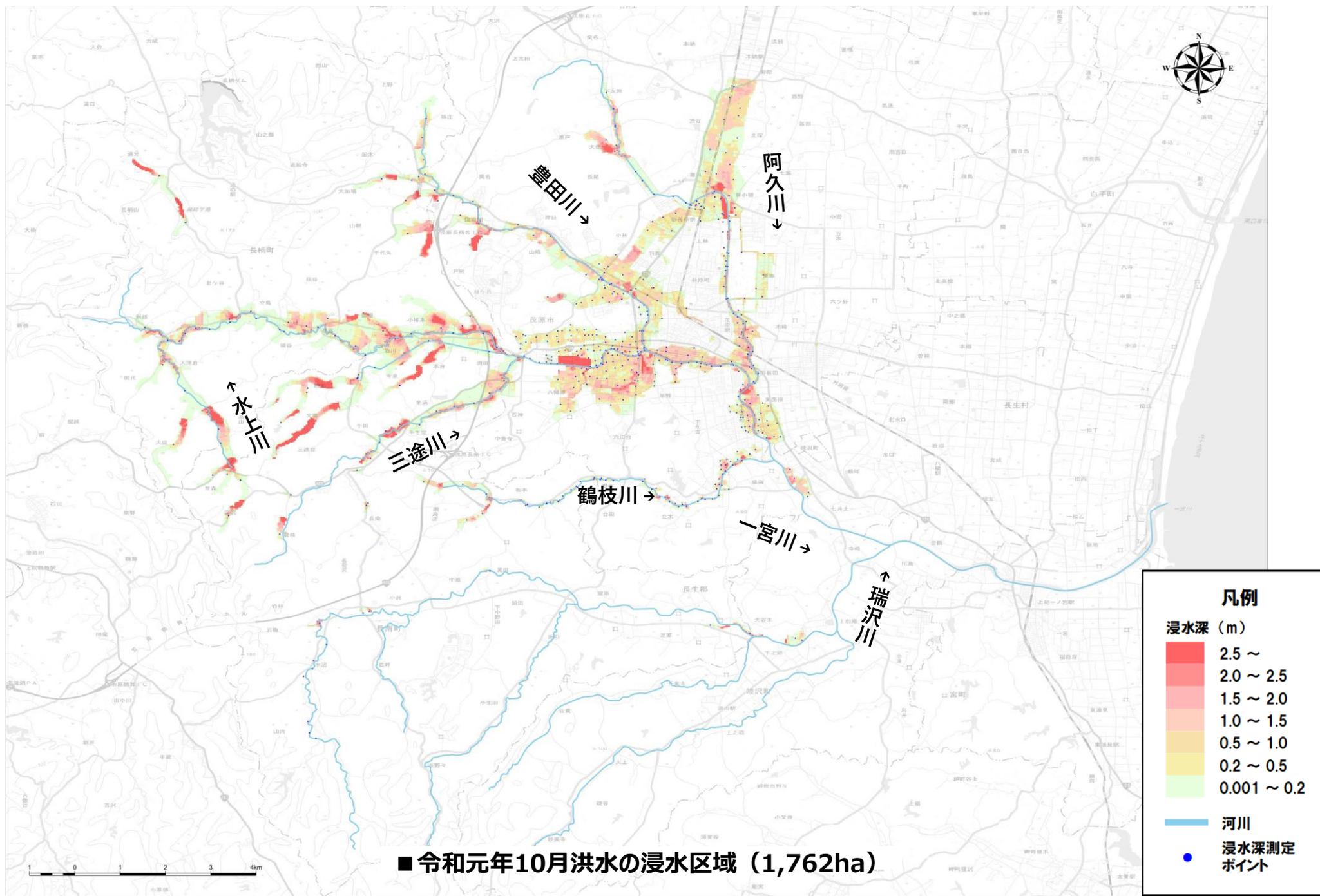
令和5年洪水の浸水コンター図（流域全体）

■ 痕跡調査結果の浸水深測定ポイントを平均化し、浸水コンター化



(参考) 令和元年洪水の浸水コンター図 (流域全体)

■ 痕跡調査結果の浸水深測定ポイントを平均化し、浸水コンター化



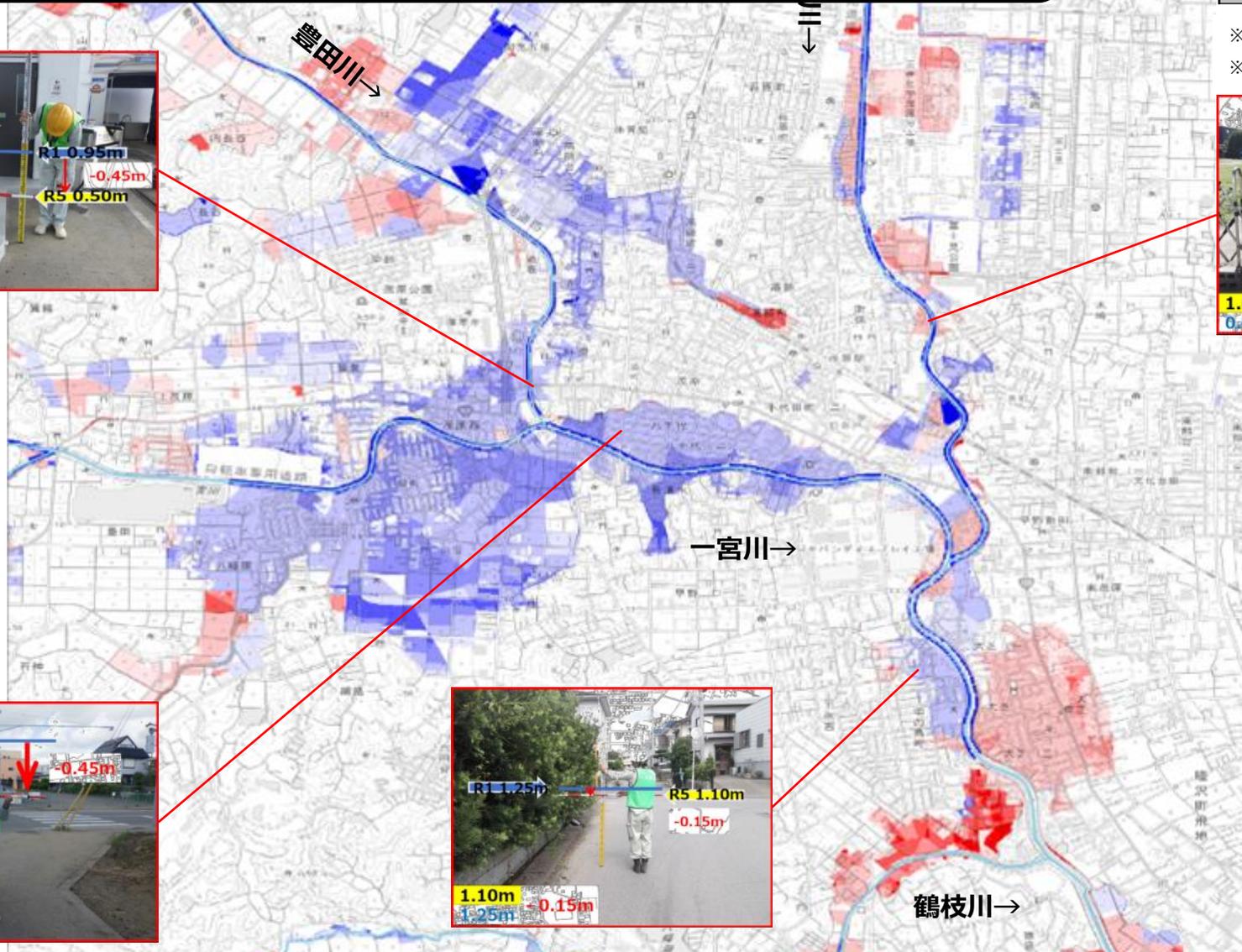
令和元年水害と令和5年水害の浸水実績図の比較 (差分)

- 令和5年は令和元年の約1.5倍の降雨だったが、
浸水被害は半減 (浸水戸数 4,337戸 → 2,053戸)



	令和元年10月25日	令和5年9月8日
浸水面積 (ha)	1,762	約 1,554 ※1
浸水戸数 (棟)	4,337	2,053 ※2
床上	2,264	905
床下	2,073	1,148

※1 浸水面積は、R5.10.13時点の流域全体での速報値
 ※2 浸水戸数は、R6.1.5時点の流域の浸水戸数速報値



凡例 (m)

浸水深の変化量 (m)

2.0 ~
1.0 ~ 2.0
0.5 ~ 1.0
0.1 ~ 0.5
0.001 ~ 0.1
-0.001 ~ 0.001
-0.1 ~ -0.001
-0.5 ~ -0.1
-1.0 ~ -0.5
-2.0 ~ -1.0
~ -2.0

↑ 浸水深増加
 ↓ 浸水深減少

— 河川

R5測定値	差
R1測定値	R5-R1値